

経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる患者様へ

KCH-251-06-0126-002

患者氏名: _____

経過	入院前	入院時 (/)	手術当日(/) 時 分～予定		術後1日目(退院) (/)
			術前	術後	
目標	入院の目的が理解できる。	手術に関連した説明内容が理解でき、実施できる。	全身状態に関し、手術可能である。	意識レベルが清明で、血圧・呼吸が安定している。痛みが軽く入眠できる。	術後の合併症がない。退院後の自己管理ができる。
検査受診	・手術に必要な検査があります。 * 検査で異常があれば、他科受診があります。麻酔術前診察				
処置			・手術前に弾性ストッキングを履きます。	・尿をだすための管が入ります。 ・管がつまらないように、膀胱内に 洗淨水を持続的に流すことがあります。	・尿の管を抜去します。 その後、最初に出た尿を見せてください。
薬剤	・医師より中止を言われた薬は内服しないで下さい。	□内服薬は医師の指示のもとで服用してください。	→ □午前の手術の場合 手術室で点滴をします。 □午後の手術の場合 医師の指示した時間より点滴を行います。	□食事がとれたら内服薬を服用してください。 (血糖降下剤は翌日から服用して下さい。) ・点滴を半日続けて行います。 ・抗生剤の点滴をします。 ・膀胱刺激がありますが、痛み止めなどの援助をさせていただきます。	□内服薬はいつも通りに服用してください。 (ただし抗血小板剤は再開日を説明します。)
安静度		・制限はありません。		・5時間後より座れます。	・歩行できます。
食事	・制限ありません。	・普通食 ※手術前日の午後9時以降は食べられません。	・水分摂取は医師から指示された時間まで摂取可能です。	・5時間後より水分がとれます。 その後食事もとれます。	・普通食
排泄		・トイレ		・排便はベッド上	・トイレ
清潔		・入浴 ②のかたは前日に 自宅で済ませてください。			・入浴できます。
説明指導	・入院前オリエンテーション ・入院の手続き	・入院時オリエンテーション ・手術前オリエンテーション(看護師) ・手術説明(主治医) ①のかたのみ 時間未定	・ご家族の方は手術開始2時間前までには病室へお越しください。	・手術後の説明(患者・家族)	・尿の観察の仕方 ・水分摂取 ・日常生活指導

* 病状に応じて予定は変更することがあります。ご不明な点があれば、主治医・受持看護師にお尋ねください。

注:①のかた 手術の数日前に入院
②のかた 手術当日に入院
入院時必ず持参してください。

・血尿が薄くなる。
・検査前の排泄行動ができる。
・排尿時痛がない、または薬で痛みのコントロールができる。
このような状態であれば退院できます。